一般社団法人日本サンゴ礁学会 2020/21 年度 代議員総会 議事録

1. 日時: 2021年11月27日土曜日 9時00分-11時30分

2. 場所: Zoom によるオンライン会議

3. 出席役員: (理事) 山野 博哉, 藤田 和彦, 井龍 康文, 中野 義勝, 栗原 晴子,

(監事) 鹿熊 信一郎, 野中 正法

- 4. 議事の経過の要領及びその結果
 - (1) 議長および議事録作成者の選出

互選により、議長に新里 宙也 氏を、議事録作成者に久保田 賢 氏を選出した

(2) 議決権総数の確認と議事の開始

出席代議員

議決権のある総代議員数 24名

出席代議員数 19名

委任状提出者数 5名

議決権総数 24名

以上のとおり、出席社員数が定足数に至ったことから、議長は開会を宣言し、下記のとおり議事に入った。

(3) 第1号議案 2020/21年度事業報告(案)について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求めた。会長は、実施事業について資料に基づき説明した。野中監事より、10月28日に実施した事業監査の結果、適正であることが報告された。また2020/21年度はコロナ禍で思うように事業が実施できなかったことについて一定程度は理解できるが、2021/22年度以降は収まる可能性が高いので積極的な事業展開を期待するとの付帯意見が添えられた。特に質問はなく、満場一致をもって原案は承認された。

(4) 第2号議案 2020/21年度決算(案)について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求め、会長は久保田 賢 事務

局長に本件について依頼した。野中監事より、10月28日に実施した会計監査の結果、適正であることが報告された。特に質問はなく、満場一致をもって原案は承認された。

(6) 第3号議案 規則の変更について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求めた。会長は資料に基づき、

- 1. 定款の改正:業務執行理事の人数を「5名以内」から「7名以内」に変更
- 2. 役員・代議員選任規則の改正:理事の任期の上限は2期4年であるが,理事として2期目かつ代表理事として1期目の理事が2期目の代表理事として重任できるよう変更
- 3. 各賞規則の制定:これまでは、別の規則が制定されていた学会賞や川口奨励賞等の各種規則について、1つの規則に統合
- の3点について説明した。

○コメント

(新里代議員)学術大会若手発表賞の大賞が「・・・学生会員または(中略)30歳以下の一般会員に限る。」となっているが、年齢で制限を設けるのは時代に合っていないと思われる。川口奨励賞のように博士取得後何年以内等の制限に変更することや一般会員に限らず外国会員も対象とすることは検討した方がいいと考えている。

(栗原理事)対象者の制限については、様々な意見をお聞きした上でより良い方向に修正していくことが望ましいと考えている。本件については、次期の庶務・会計担当理事を中心に検討し、次回の大会までに理事会で修正する予定である。

(6) 第4号議案 理事・監事の選任について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求めた。会長は資料に基づき 6名の理事(梅澤 有、井龍 康文、栗原 晴子、中野 義勝、藤田 和彦、山野 博哉)および2名の監事(鹿熊 信一郎、野中 正法)の任期満了に伴う退任の報告後、6名の理事候補者(井龍 康文、木村 匡、栗原 晴子、中野 義勝、波利井 佐紀、山野 博哉)ならびに2名の監事候補者(野中 正法、宮本 育昌)の選任について提案し、それぞれ承認された。

その後,2021/22 年度第 2 回理事会が開催され,新理事および監事の互選により,山野博哉理事が会長として選出された。また,各業務担当については,以下のとおりとなった。

波利井 佐紀:学会誌担当

栗原 晴子:広報・社会連携担当

井龍 康文:学会戦略·国際担当

中野 義勝:サンゴ礁保全・調査安全担当

木村 匡: 庶務・会計担当

(7) 第5号議案 2021/22年度事業計画(案)について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求めた。会長は、資料に基づき説明した。特に質問はなく、満場一致をもって原案は承認された。

(8) 第6号議案 2021/22年度予算案について

議長は、山野 博哉 会長に本件についての説明を求め、会長は久保田 賢 事務 局長に本件について依頼した。事務局長は資料に基づき説明し、特に質問はなく、 満場一致をもって原案は承認された。

上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長および議事録作成者が署名 捺印する。

2021年11月27日

一般社団法人 日本サンゴ礁学会 2021/22 年度 代議員総会

議長・議事録作成者 議長 新里 宙也 印

議事録作成者 久保田 賢 印